

## 連携会議（ワーク・ライフ・バランスの取組推進チーム）の進め方（案）

### 1、活動内容

#### ①各団体の取組報告と好事例の共有化（上半期に実施）

チーム構成員の各団体から、ワーク・ライフ・バランスへの取組発表を行うとともに、「ワーク・ライフ・バランス」の課題や取組について議論を行い、互いの好事例の抽出、共有を行う。

#### ②「各団体が実施する活動内容」（下半期に実施すること）を各自決定

①の好事例を参考に、各団体内において、下半期にチーム構成員の各団体が主体となって、何ができるかを検討・決定する。

#### ③各団体による活動の実施

下半期において、各団体が主体となって、②の活動を展開する。

#### ④活動内容の取りまとめ、報告

2月を目途にチーム会合を開催し、下半期に各団体が行った活動③の結果を報告、とりまとめ、3月の連携会議に報告を行う。

### 2、スケジュールのイメージ

6月	第1回会合	各団体の取組み発表、議論、好事例の抽出・共有 ※
7月頃	第2回会合	各団体の取組み発表、議論、好事例の抽出・共有
9月頃	第3回会合	各団体の取組み発表、議論、好事例の抽出・共有
		団体ごとに「実施する活動内容」を決定
1月まで		【各団体の活動期間】
2月頃	第4回会合	各団体の活動内容報告
3月		連携会議にて活動内容の報告（報告書を作成し、ホームページに掲載）

#### ※ 第1回～3回会合について

開催回数、議論内容は、参加団体数を勘案して調整する。

→ 1回の会議での発表チーム数、進め方など

チーム構成に応じ、カテゴリーによる開催も検討（医療系、教育系など）

### 3、議員の役割分担

- (1) 企画委員 団体の発表に対し、客観的立場から適宜コメントいただき、好事例の共有に向けた議論をリード。また各団体の取組みに対し適宜アドバイス。
- (2) 団体推薦議員 事例紹介、課題等の議論を踏まえ、団体の取組を検討・実施。